

3 青少年の健全育成

1 青少年の健全育成

〈目標〉

青少年健全育成のネットワークを強化するとともに地域教育コミュニティの形成を図り、学校・家庭・地域が連携し、青少年の健全育成に取り組む。

〈取り組みの方向〉

学校・家庭・地域が連携し、青少年の健全育成活動を推進しているが、青少年の主体的な活動を促進し、地域ボランティア活動など地域との交流を図る。

〈平成 22 年度の主な取り組み〉

(1) 地域ぐるみの育成活動

- ・ 青少年指導員会活動を支援するとともに、青少年育成啓発事業等を実施し、青少年の健全育成を進める。
- ・ 子どもの安全見守り活動、地域教育協議会⁽¹⁹⁾活動や学校支援地域本部事業⁽²⁰⁾の支援及び放課後子どもプランに基づく活動の支援を行い、地域教育コミュニティ⁽²¹⁾の向上を図り、青少年の健全育成を進める。
- ・ 学校支援地域本部事業の取り組みを地域に定着・発展させるために、地域住民の活動拠点の整備を行う。

(2) 青少年活動の促進

- ・ 青少年リーダーを養成するため、寝屋川リーダーズセミナーを開催し小学生高学年と中高生の受講者に対し、体系的なリーダー養成をめざす。
- ・ 「自分たちのイベントは自分たちで」の目標をかかげ、より多くの新成人の参画のもと実行委員会組織を強化し、成人式を実施する。

(3)家庭教育の推進

- ・『家庭教育推進指針』に基づき、元気子育てフォーラムの開催や家庭教育サポートチームの派遣等により、家庭教育力の向上を図る。

(4)留守家庭児童会事業

- ・保護者が労働等により昼間家庭にいない小学1年生から3年生の児童に、学校の放課後及び長期休業日等に適切な遊びや生活の場を提供することにより、児童の健全な育成を図る。

〈平成22年度の取組実績〉

(1)地域ぐるみの育成活動

①青少年健全育成活動

青少年の健やかな成長を願い、地域の青少年健全育成を図るため、青少年指導員会と連携し、中学生の主張、子どもを守る市民集会、青少年育成促進事業の推進を図った。

【参加者数】

	平成20年度	平成21年度	平成22年度
中学生の主張応募者数	2,861人	2,752人	2,403人
子どもを守る市民集会参加者数	910人	883人	944人
青少年育成促進事業参加者数	2,973人	2,374人	3,625人

②地域教育コミュニティ

地域教育コミュニティの向上をめざし、その母体となる地域教育協議会を全中学校区に設置し、家庭・学校・地域が協働して様々な活動を行うとともに、学校支援地域本部事業を推進するため、研修会等を実施し、学校支援ボランティア活動の活性化を図った。

また、地域による学校支援緊急対策事業を活用し、4中学校区にて、学校支援地域本部の拠点を整備した。

放課後子ども教室₍₂₎推進事業においては、放課後や週末に子どもの安全で安心な居場所を確保し、地域の世代間交流・異年齢交流の推進に努め

た。引き続きまなび舎事業・まなび舎キッズ⁽²³⁾をはじめ、子どもの学力向上と学習習慣の定着を図ることを目的として、宿題や国語・算数の教科学習支援を実施した。

【参加者数】

		平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
放課後子ども教室 延べ参加者数	子ども	90,259 人	88,932 人	100,609 人
	大人	17,396 人	17,148 人	18,606 人
計		107,655 人	106,080 人	119,215 人
地域教育協議会 (12 中学校区)		33,711 人	36,342 人	39,144 人
学校支援地域本部事業 ボランティア延べ活動人数		33,439 人	95,244 人	107,164 人

③安心安全体制の充実

地域における子どもの安心安全体制を充実するために、子どもの下校時に地域パトロールカーや見守り隊活動を行うとともに、地域による防犯意識啓発のために子ども 110 番の家の旗を住居、企業等へ掲出の呼びかけをした。

また、友呂岐中学校区においては、地域安全マップづくりを実施した。

【安心安全体制取組状況】

	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
見守り隊登録者数 (24 小学校区)	4,744 人	4,860 人	4,802 人
子ども 110 番協力件数	4,355 件	4,369 件	3,811 件
地域パトロールカー年間稼働日数	103 日/校	96.9 日/校	100 日/校

(2)青少年活動の促進

- ①寝屋川リーダーズセミナー小学生クラブ⁽²⁴⁾・中高生クラブ⁽²⁵⁾を開催し、キャンプ等を通して仲間づくりをはじめ自主性、協調性を養うことにより青少年活動の核となる青少年リーダーの養成を図った。

【参加者数】

	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
寝屋川リーダーズセミナー小学生クラブ	290 人	485 人	529 人
寝屋川リーダーズセミナー中高生クラブ	108 人	163 人	339 人

- ②自ら創り上げることをテーマに一般公募による成人式実行委員会を組織し「自分たちの成人式」を企画し、運営進行を行うとともに成人としての自覚を促し、新たな一步を踏み出すために成人式を挙行了した。

【成人式参加者数】

	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
対象者数	2,347 人	2,318 人	2,195 人
参加者数	1,456 人	1,412 人	1,378 人
参加率	62.0 %	60.9 %	62.8 %

- ③「人の輪・青少年のネットワークづくり」をテーマにねやがわチャレンジ・ザ・ドミノ実行委員会を組織し、寝屋川市の次世代を担う青年の交流の場を設け、8チーム 129 名が事業に参画し、青少年活動の推進を図った。

(3)家庭教育の推進

- ①子育て中の保護者が、多くの人々との交わりの中で、親として育ち、共に考え、学びあうために元気子育てフォーラムを開催し、家庭教育に関する啓発活動に努めた。
- ②家庭の教育力の向上を図るため、家庭教育推進に向けた啓発と学習の機会の充実に取り組んだ。
- ③子育てやしつけに悩みや不安を抱く家庭に対して、家庭教育サポートチームによる相談や家庭訪問を実施した。

【各事業等参加者数】

		平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
元氣子育てフォーラム		1,038 人	1,067 人	1,013 人
家庭教育学級		409 人	521 人	492 人
サポートチーム	訪問回数	153 回	193 回	254 回
派遣事業	相談回数	244 回	410 回	241 回

(4)留守家庭児童会事業

保護者が労働等により昼間家庭にいない児童の放課後及び学校の休業日の生活拠点として、異年齢集団の活動を通して、心身の健全な発達を促すことを目的に開設している。

なお、特に児童数の多い中央小学校、第五小学校の各児童会については、クラブを2つに分割し、児童のより健全な育成ができるようになった。

【入会児童数】

(各年度5月1日現在)

		平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
児童数（1～3年生）		6,800 人	6,402 人	6,128 人
入会児童数		1,495 人	1,487 人	1,463 人

〈点検・評価〉

(1)地域ぐるみの育成活動

- ・ 青少年指導員会と連携し、様々な事業に取り組むことにより、地域の青少年の健全育成が図ることができた。
- ・ 放課後子ども教室など、地域ぐるみの育成活動を通して、子どもの安全で安心な居場所を確保することができた。
- ・ 4 中学校区で地域住民の活動拠点の備品の整備等を行うことにより、学校支援地域本部事業の活性化を図ることができた。
- ・ 地域パトロールカーや見守り隊を活用することにより、地域における子ども

の安心安全体制を図ることができた。

- ・友呂岐中学校区においては、地域安全マップを作成するとともに、子どもを守る市民集会で取り組みの報告をすることにより、安心安全体制の充実を図ることができた。

(2) 青少年活動の促進

- ・青少年リーダーの養成を図るとともに、成人式では、新成人による実行委員会形式で成人式を開催し、大人としての社会における自覚を促し、市民意識を培うことができたが、参加者数が微減にとどまっており、今後より多くの参加者が集えるような成人式となるように検討する。
- ・ねやがわチャレンジ・ザ・ドミノでは、市内の大学生や高校生が参加し、共通の作業を行うことで連帯感を育み、新たな青少年の交流が一定図れたが、事業PR、開催時期等を検討し、より青年の交流や連携が図れるような事業をめざす。

(3) 家庭教育の推進

- ・家庭教育の自主性を尊重しつつ、保護者に対する相談や学習の機会及び情報の提供など家庭教育を支援するため、元気子育てフォーラムや家庭教育学級の開催、家庭教育サポートチームの派遣を通じ家庭教育に対する支援体制の充実を図ることができた。

(4) 留守家庭児童会事業

- ・放課後に適切な遊びや生活の場を与え、児童の健全育成に努めることができた。
- ・特に児童数の多い中央小学校・第五小学校のクラブ分割を行うことで、環境整備を図ることができた。

2 教育センターの充実

〈目標〉

青少年に対して、様々な学習と活動の場を提供するなど自主的活動を支援し、青少年の健全育成を図る。

〈取り組みの方向〉

生きる力と豊かな感性を育む場所として各種事業を展開するとともに、青少年の自主的な活動を支援し、幼児から青少年までが気軽に利用できる拠点として、効果的・効率的な施設の管理運営を行う。

〈平成 22 年度の主な取り組み〉

(1) 青少年の居場所づくりへの支援

- ・ふれあい、仲間づくりのできる青少年の居場所としてセンター事業をさらに充実させるとともに、青少年の利用者と地域の方々との交流や利用者同士の交流を図る。

(2) 教育センター事業の充実

- ・センター事業を魅力的な事業内容に発展させていくため、各種講座等の充実を図る。

(3) 教育センターの効果的・効率的な管理運営

- ・平成 21 年度に引き続き、指定管理者制度導入による民間活力の活用によって、教育センターのより効果的・効率的な管理運営を行う。
- ・施設の管理運営について実績検証を行う。

〈平成 22 年度の実績〉

(1) 青少年の居場所づくりへの支援

- ①子どもの放課後や長期休業中における様々な遊びや活動を通じて社会性や協調性を養い、自学・自習の生活習慣作りを支援するわくわくガリバーハウス事業等の充実を図った。

②教育センターフェスタやバスケットボール大会など各種事業において、青少年の利用者と地域の方々との交流や利用者同士の交流を図った。

(2) 教育センター事業の充実

①新規事業として造形あそびを実施し、子どもたちの自由な発想を引き出し独創性を育むとともに、家族との参加を基本とすることにより、家庭での話題や団らんの機会を提供することができた。

②時代の流れや教育センター事業の内容を踏まえ、子育て支援に関する書籍を設置するとともに、人気小説や絵本などの新刊も設置した。

【教育センターの利用状況】

区 分	年 度		
	平成20年度	平成21年度	平成22年度
子どもデイサービス事業	17,651人	24,774人	34,543人
生涯学習事業			
日常講座	9,239人	11,836人	11,807人
特別講座	406人	204人	221人
イベント事業	1,524人	4,653人	4,540人
貸し館	9,108人	20,982人	16,847人
合 計	37,928人	62,449人	67,958人

※イベント事業に教育センターフェスタも含む。

(3)教育センターの効果的・効率的な管理運営

市民サービスの向上を図るため、引き続き指定管理者による管理運営を行うとともに、より適正な管理運営となるよう、実地調査や指定管理者からの事業報告等による実績検証を実施した。

また、教育センター利用者の安全確保を図るため、耐震診断及び耐震補強設計を実施した。

〈点検・評価〉

(1) **青少年の居場所づくりへの支援**

- ・ 青少年の放課後等の居場所を提供するとともに、教育センターフェスタやバスケットボール大会など各種事業において世代間交流や青年同士の交流を図り、地域における青少年の居場所づくりを支援することができた。

(2) **教育センター事業の充実**

- ・ 各種新規事業を実施するなど、内容の充実やホームページ・広報活動の活性化により事業参加者数が増加した。
- ・ 利用者に対するアンケート調査を行った結果、満足度 98.0%と良い評価を得ることができ、今後の事業実施の参考となった。

(3) **教育センターの効果的・効率的な管理運営**

- ・ 引き続き指定管理者による管理運営を行うとともに、実績検証を実施し改善事項を指示するなど、より適正にかつ効果的・効率的な管理運営を行った。
- ・ 利用者の安全確保のため、耐震診断及び耐震補強設計を実施し、施設充実への取り組みを図ることができた。

3 エスポアールの充実

〈目標〉

幼児から高齢者までの世代間の交流を推進し、人と人のふれあいを深めるとともに、市民の自主学習・自主活動の場の提供や団体の育成を行う。

〈取り組みの方向〉

エスポアールの効果的・効率的な管理運営を進め、青少年成人センター及び児童センターの機能の充実を図る必要がある。

また、地域全体で子育て支援や児童の健全育成を推進するため、支援サークルを育成するとともに、地域の人材を積極的に活用する。

〈平成 22 年度の主な取り組み〉

(1) 子育て支援と青少年の健全育成

- ・ 青少年健全育成事業の更なる充実を図るため、世代間の交流や地域ぐるみの子育て支援の取組等の推進及び各種新規事業を実施する。

(2) エスポアールの効果的・効率的な管理運営

- ・ 平成 21 年度に引き続き、指定管理者制度導入による民間活力の活用によって、エスポアールのより効果的・効率的な管理運営を行う。
- ・ 施設の管理運営について実績検証を行う。

〈平成 22 年度の取組実績〉

(1) 子育て支援と青少年の健全育成

- ① 子育て相談について、事前申込みによる受付から随時受付に変更するなど、相談しやすい環境づくりを行った。
- ② 子育て支援のため、子育て講演会や「子育ては親育ち」などの各種事業を実施するとともに、にこにこランドや体操広場など、親子のふれあいを深める機会を提供した。
- ③ 地域の高齢者などの協力を得て、囲碁・将棋ひろばや伝承遊び、季節行事のお月見や豆まきなど、世代間交流を実施した。

【エスポアールの利用状況】

区 分	年 度		
	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
青少年成人事業	9,012 人	8,866 人	11,267 人
児童健全育成事業	7,219 人	39,630 人	63,237 人
親子ふれあい事業	5,191 人	4,401 人	6,795 人
世代間交流事業	9,863 人	1,415 人	10,847 人
子育て支援事業	1,679 人	1,310 人	1,335 人
貸し館等	136,923 人	107,645 人	109,038 人
合 計	169,887 人	163,267 人	202,519 人

※世代間交流事業にフェットエスポアールも含む。
 (平成 21 年度は新型インフルエンザにより中止)

(2)エスポアールの効果的・効率的な管理運営

市民サービスの向上を図るため、引き続き指定管理者による管理運営を行うとともに、より適正な管理運営となるよう、実地調査や指定管理者からの事業報告等による実績検証を実施した。

〈点検・評価〉

(1)子育て支援と青少年の健全育成

- ・子育て支援に関する取り組みの強化や講座等各種事業の充実、自習コーナーの開放などにより、大幅に利用者数が増加した。
- ・世代間交流事業を実施するにあたり、利用サークルや地域の高齢者の協力により事業の充実を図った。

(2)エスポアールの効果的・効率的な管理運営

- ・引き続き指定管理者が管理運営を行うとともに、実績検証を実施し、改善事項を指示するなど、より適正にかつ効果的・効率的な管理運営を行った。
- ・利用者に対するアンケート調査を行った結果、満足度 96.0%と良い評価を得ることができ、今後の事業実施の参考となった。